

今の船の状況、本当に安全？ あなたの危機管理意識を再チェック！

漁船乗組員が海中転落で死亡するという痛ましい事故が発生しました。

11月2日、山形県酒田市十里塚沖合いで、漁船A丸に乗船していた船長と乗組員の2人は、船を止め、網の投入準備をしていたところ、右舷側から約2メートルの高波（磯波）を受け、船体が大きく左舷側に傾いたことにより2人とも海に投げ出された。

船長は自力で船の甲板上によじ登り、行方不明になった乗組員を捜索していたところ、海面にうつぶせ状態で浮いているのを発見。のちに乗組員は救助され、病院に搬送されたが死亡が確認された。



漂着した漁船A丸

油断や気の緩みが原因の海難が後を絶ちません。

「いつもやっている作業だから」「このぐらいの波なら大丈夫だ」といった、自分を過信した行動をしていませんか。

自分の命は誰より自分自身で守るものなのです。今まででの行動を振り返ってみて、危険行動はなかったか考えてみましょう！

漁船セーフティラリー2017 引き続き実施中！！(12月末まで)

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609



漁船かわら版

検索

意外と知らない！？ ライフジャケット

ライフジャケットは命を守る大切な装備ですが、正しい着用・使用をしていないと、落水時に脱げたり膨らまなかったりと本来の力を発揮できません。ライフジャケットは正しく着用し、また使用方法を熟知しておきましょう！

固定式ライフジャケット



- ① 両脇にジャケットを通す
- ② 肩、横のベルトを締める
- ③ 前ファスナーを締める
- ④ 股下のベルトがある場合は必ず通す
- ⑤ 水が入ると緩むので、少しきつめに調整

膨脹首かけ式ライフジャケット



- ① 前後を間違えないように、マフラーのように首にかける
- ② 両腕を通し、体に密着するようにバックルを留める
- ③ 作動索がすぐに引ける状態か確認
- ④ 落水時、手動式の場合は作動索を引き膨らます

膨脹ベルト式ライフジャケット



- ① 体に密着するようにベルトを調節しバックルを留める
- ② 浮き収納部分が背面腰部の位置に付ける
- ③ 作動索がすぐに引ける状態か確認
- ④ 落水時、手動式の場合は作動索を引き、膨らんだ浮きに左右バックルがある場合は留める

磯波について 改めて確認！

磯波とは

波が海岸に近づくにつれて波高が高く急峻な波に変化し、やがて、波の頂上から砕ける現象のことです。

沖合いでは比較的小さな波でも、風向、波高によっては河口付近で大きな磯波が発生する場合があります。また、風が弱くても遠方から長周期のうねりが河口に向かっている場合は大きな磯波が発生しやすくなります。

磯波に出会ったら

小型船は、急峻な横波に遭遇すれば、小さな波高でも転覆する恐れがあります。

磯波などの高い波に出会った場合は、船首を立てるように舵を取る、不用意に波頂や波の下り斜面で船を回頭せず、大波をやり過ごした直後に回頭するといった適時適度な操船、また、磯波などが発生しやすい海域を避けるといった事前回避を心がけましょう。

H29 東北地方 漁船海難発生状況（11月末現在）

青森県

岩手県

宮城県

秋田県

山形県

福島県

11隻

10隻

7隻

1隻

6隻

2隻

死者・行方不明者数： 10人